

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調 達 件 名	札幌市地域ぬくもりサポート事業実施業務（北エリア）
発 注 課	保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課
選 定 事 業 者	社会福祉法人HOP
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。）	
<p>本業務は、地域住民による有償ボランティアの活用を図るものであるため、委託法人は、障がい児者の障がい特性と地域生活のニーズを十分に把握し、障がい児者とその家族に対する相談支援のほか、町内会等の地域の社会資源との連携を含め、地域の人的資源の活用に関する豊富な実績を有していることが必要である。</p> <p>当該法人は、計画相談支援等の相談支援事業を実施しており、豊富な相談支援の実績を有しているほか、多岐に亘る障害福祉サービスを運営しており、障がい児者の支援に関するノウハウやネットワークを構築している。また、地域住民を交えた清掃活動をボランティアとともに実践したり、東日本大震災や胆振東部地震の際は、現地に赴き、復興支援活動として土砂の撤去やミニ児童デイサービスを開くなど、被災地でのボランティア活動にも尽力している。さらに、障がい児等に対する余暇活動の充実にも力を入れており、本事業の推進に直結する地域住民との協働や連携、ボランティアの受入や調整等に関する豊富な実績を有している。</p> <p>また、当該法人は、公募型プロポーザルにより、平成27年10月から本業務を受託しており、他エリアの2法人と連携の上、実施エリアにおいて各種社会資源等との連携を積極的に行うなど、利用者や支援の担い手となる地域住民との面談などにおいて、障がい特性の理解やボランティア業務の豊富な経験から、ニーズ等を的確に把握し丁寧なマッチングを実践してきたことにより、支援件数を延伸させてきた実績があり、良好な履行実績を残している。令和元年度においても着実に支援件数を延伸させており、今後も円滑なボランティア調整業務等の実施が見込まれる本事業において、当該法人の必要性は極めて高く、他に代替することのできないものである。</p> <p>よって、以上の要件を全て備え、事業の継続性の観点も踏まえると、今後においても安定的、発展的な本事業の遂行が見込まれる唯一の法人であり、公募型プロポーザルにより選定され、これまで極めて良好な実績を残していることから、競争入札に付すことが適さない契約と考えられる。</p>	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号
	地方自治法施行令第167条の2第1項第1号 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領（第48条・第91条）第1項（ ）（ア～キ又はア～オのいずれかを記入）
決 定 日	令和2年3月17日